国別開発協力方針　別紙

対エチオピア連邦民主共和国　事業展開計画

2017年 4月 現在

基本方針 （大目標）	質の高い経済成長促進支援

重点分野１ （中目標）	農業・農村開発
	【現状と課題】 エチオピアの農業セクターは労働人口の約75%、GDPの約37%を占めており、貧困削減および経済成長の核である。農業従事者の多くは平均耕作面積１ha未満の自給的な小規模農家であり、天水依存型農業である。しかし、国内では、干ばつ等自然災害が頻発し、食糧危機が発生しやすい脆弱な状況にあり、安定的な食糧生産が依然課題である。また、経済成長を持続させるための小規模農家の生産性向上や農業の市場参入の強化や、人口増加に伴う森林の減少や自然環境への配慮を欠いた農業、過放牧による土壌浸食による農業生産性の低下の防止も、急務となっている。
	【開発課題への対応方針】 食糧安全保障および経済成長の基盤となる農業生産性および安定性向上のための支援を行っていく。また、経済成長を持続的に推進していくため農村の市場経済化を支援していく。更に農業生産性の基盤となる持続的な自然管理についても支援を行っていく。

開発課題１－１ （小目標） 農業・農村開発	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	支援額（億円）	備考
	農業の市場経済化プログラム	農業の市場経済化のため、小規模農家の市場志向型農業への転換のための能力強化、公的支援機関の体制強化を目指す。	市場志向型小規模園芸農業推進プロジェクト	技プロ							5.53	
			植物防疫アドバイザー	個別専門家								
			花卉産業のサプライチェーン高度化育成についての案件化調査	中小企業支援								
			マーケティング	JOCV								
			農業の市場経済化の課題別研修	課題別研修他								
	農業生産性・安定性向上プログラム	農業生産性向上および安定的な農業生産の実現を目標に、中央省庁の政策立案能力向上と農業生産性向上に向けた実施能力の向上を目指す。	農業アドバイザー	個別専門家								
			国立イネ研究研修センター強化プロジェクト	技プロ							7.89	
			カタール川流域住民参加型養魚による栄養改善プロジェクト	草の根技協								
			農村レジリエンス強化のためのインデックス型農業保険促進プロジェクト	技プロ							7.06	
			農業生産性･安定化向上の課題別研修	課題別研修他								
			経済社会開発計画	無償							4.10	

	自然資源の管理プログラム	農業生産性の向上と森林資源の保全の両立を目指すため、住民参加型の自然資源管理の手法の確立と普及体制の強化を目指す。	オロミア州リフトバレー地域におけるFFSを通じた持続的自然資源管理プロジェクト	技プロ							2.90	
			REDD+及び付加価値型森林コーヒー生産・販売を通じた持続的な森林管理支援プロジェクト	技プロ							4.60	
			砂漠化対処に向けた次世代型「持続可能な土地管理（SLM）」フレームワークの開発	科学技術							4.00	
			在来種による植林と環境教育を通じた住民組織による里山復元事業	草の根技協								
			自然資源管理の課題別研修	課題別研修他								

重点分野２（中目標）	産業振興	
開発課題２－１（小目標）産業振興	【現状と課題】 エチオピア政府は、GTP2において、アフリカにおける軽工業のリーダー国となること、農業一辺倒の経済構造から農業および工業の二本柱で経済を牽引する経済構造転換を主要な目標として掲げ、政府主導で、製造業振興の一環として海外直接投資（FDI）の誘致を進めつつ、工業団地開発を急いでいる。しかし、頑健な輸出振興施策が確立されてない上、製造業の質・生産性・競争力の低さや、中小企業の資金調達能力の低さ、経営技術不足等も相まって、製造業のGDPに占める割合が未だ5%と低い上、恒常的な貿易赤字による外貨不足が深刻であることから、FDIの誘致及び輸出振興と国内産業の育成、強化の両輪による工業化が今後の課題となっている。	【開発課題への対応方針】 エチオピアにおいて公正で持続的な産業開発を支援するため、政策対話とプロジェクト実施の支援を中心に据えつつ、帰国後の長期研修員とJICAボランティアを積極的に活用していく。政策レベルでは産業政策対話を通じて、同国の産業政策への助言等を継続実施し、実施レベルでは①投資促進と輸出振興、及び②国内産業の育成、強化の２つの観点から支援する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	支援額（億円）	備考
産業振興プログラム	産業政策対話を通じて、同国の産業政策への助言等を継続実施しつつ、「投資促進と輸出振興」ではFDI誘致及び工業団地開発に資する能力開発を行い、日系企業にも裨益する形で投資環境整備にも貢献する。 「国内産業の育成、強化」では、「カイゼン」の普及を通じた生産性及び品質向上の体制確立を目指す。 また、皮革産業をモデルとして製造業の輸出振興支援によって国内産業の質と生産性の向上を目指す。 さらには、中小企業の金融へのアクセスと経営能力の強化にも取り組んでいく。 並行して、ABEイニシアティブ研修員の帰国後ネットワーク活用や、JICAボランティアの産業人材育成・地域振興への活用を進めることにより、これまでの投入の効果の最大化を図る。	産業振興プロジェクト（産業政策対話、投資促進・工業団地開発、貿易振興）	開発計画							18.70	
		品質・生産性向上、競争力強化のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト	技プロ							8.22	
		TICAD産業人材育成センター建設計画協力準備調査	協準								
		女性起業家支援事業	有償							55.00	
		コミュニティ開発	JOCV								
		企業の成長を目的としたビジネス・ディベロップメント・サービスプロジェクト	技プロ							3.00	
		日系アパレル企業のOEM生産を対象とした品質管理・検品事業に係る基礎調査	中小企業支援								
		アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）	課題別研修他								
		産業振興の課題別研修	課題別研修他								
		観光の青年海外協力隊	JOCV								

重点分野３ （中目標）	インフラ開発

開発課題３－１ （小目標） 電源の多様化・効率化	【現状と課題】 エチオピア政府は経済インフラの拡充・更新を重要視しており、工業化促進を念頭に置きつつ、GTP2期間において、①電力供給能力向上、②物流コスト低減（道路拡張を含む）、③安全な水へのアクセス向上を目標としている。 電力分野では、国内の水力発電能力を活かし、近隣国への電力輸出を拡大させる方針にあるが、増大する電力需要に適応するための、国内の基幹送電網及び、国際連系線の開発が課題となっているほか、天候に依存する水力発電以外の電力供給能力の構築が求められている。 運輸交通・都市インフラ分野においては、工業化や農業開発を推進するために国際物流網整備及び、都市への急速な人口集中に伴うインフラ整備と体制強化が重要課題となっている。 水分野では、地方部における新規給水施設の建設及び給水装置の普及並びに都市部における施設運営管理体制の強化及び人材育成が急務となっている。また工業化に伴う都市化及び人口増加に伴う環境汚染が深刻化しており、都市の上下水道建設及び上下水道施設運営維持管理にかかる人材育成・能力強化は喫緊の課題である。	【開発課題への対応方針】 電力輸出にむけた①国内基幹送電線及び国際連系線の開発、②地熱発電開発を通じた電源多様化及び③電力需要が急激に増大するアディスアベバの送配電網の更新・拡張を重点的に支援していく。 また、GTP2にて掲げられている魅力ある投資環境・市場整備、物流コストの低減にむけ、地域の産業開発とマルチモーダルでの国際物流網整備のためのジブチ回廊開発も視野に舗装道路率の向上や実施機関等の能力強化を含め、農業開発と工業化を下支えする国内道路網の整備・維持管理及び都市のインフラ改善を支援する。 さらに、上下水道施設整備と給水サービスの質の向上に資する人材の育成を組み合わせた協力を展開する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	支援額（億円）	備考
安定的な電力供給プログラム	地熱開発、送配電網の整備などへの支援により電源の多様化、電力ロスの低減などを目標とする。	地熱開発試掘能力強化プロジェクト	技プロ								
		アルトランガノ地熱発電事業準備調査	協準							3.83	有償資金協力
		地熱開発アドバイザー	個別専門家								
		坑口地熱発電計画準備調査	協準								
		アジスアベバ送配電網情報収集・確認調査画	基礎情報調査								
		送電開発アドバイザー	個別専門家（有償）								
		安定的な電力供給の課題別研修	課題別研修他								
運輸交通・都市インフラ開発プログラム	国内道路網の整備、都市のインフラ改善、ジブチ回廊にかかる支援を展開し魅力ある投資環境整備と物流コストの低減を目指す。	幹線道路軸重計整備計画	無償							5.97	
		アディスアベバ市道路維持管理能力向上プロジェクト	技プロ							3.33	
		高速道路維持管理アドバイザー	個別専門家								
		ジブチ回廊に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査								
		空港アドバイザー	個別専門家								
		デジタル地図データ作成能力強化プロジェクト	技プロ							6.05	
		運輸交通・都市インフラ開発の課題別研修	課題別研修他								

開発課題３－２
（小目標）
運輸交通・都市インフラ開発

開発課題３－３ （小目標） 安全な水へのアクセス向上と都市衛生対策	安全な水へのアクセス向上と都市衛生対策プログラム	水技術機構（EWTI）をへの支援を通じ、市場ニーズに合った水技術者育成を目指すとともに、アディスアベバを中心とする主要都市等の上下水道整備・サービスの質の向上を目指す。	水技術機構研修運営管理能力強化プロジェクト	技プロ							3.13	
			アジスアベバ市無収水対策プロジェクト	技プロ								
			地下水開発給水能力向上	第三国研修								
			地方給水（水質検査、コミュニティ開発等）	JOCV/SV								
			安全な水へのアクセスと都市衛生対策の課題別研修	課題別研修他								

重点分野４ （中目標）	教育・保健

開発課題４－１ （小目標） 質の高い教育環境の提供	【現状と課題】 １．教育 エチオピア政府は1997年より「教育セクター開発プログラム」を実施しており、初等教育へのアクセスは、2014/15年に粗就学率ベースで概ね100%まで向上したが、急速なアクセス拡大に教育の質担保が追いついていない。また、エチオピア政府は、児童の中等教育へのアクセス向上に課題を抱えており、今後の高等教育の拡大に向けた支障ともなっている。 ２．保健 2025年までの低中所得国入りを念頭に、エチオピア政府はGTP2において、持続的な経済成長に向けた人材育成のための基礎医療・保健サービスインフラの拡大並びに関連従事者の能力強化を具体的活動目標として掲げている。	【開発課題への対応方針】 １．教育 我が国は、これまで初等教育を中心とする学校建設、学校運営の改善に取組んできた。他方、初等教育の質の改善や中等教育への取組み強化の必要性から、プログラムの対象を、初等に加え中等を含む基礎教育とし、①アクセスのさらなる改善、②教育の質の改善を協力を中心に、学校施設の改善を通じた地域格差是正と中等教育ニーズへの対応及び日本の比較優位を活かし、教員による生徒の学力評価方法、授業内容の改善を図る。また、本プログラムの協力により、エチオピア政府が重視する理数分野の強化（産業人材育成）への貢献をはかる。 ２．保健 我が国は、ユニバーサルヘルスカバレッジの推進を念頭に置きつつ、持続的な経済成長に資する人材育成のため、①保健分野における人材育成、②医療・保健インフラ整備を支援し、保健・医療サービスの質向上を目指す。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間 2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	支援額（億円）	備考
質の高い教育環境の提供プログラム	「①初等教育における理数科目に焦点を当てた教育の質向上」と「②中等教育に焦点を当てた教育へのアクセス強化」を通して、将来のエ国産業を担うに足る基礎学力を持った人材の育成に貢献する。 ①の実現のためには、学校レベルでは教員研修や副教材・指導書作成を行う技プロを間断なく実施するとともに、ボランティア事業も積極的に活用する。また、中央レベルでは個別専門家を配置することで、政策への助言を継続する。 ②の実現のためには、地域間格差を考慮した無償による学校建設を実施していく。	理数科教育アセスメント能力強化プロジェクト	技プロ							4.80	
		科学技術のための算数・数学理解プロジェクト	技プロ							7.80	
		理数科教育アドバイザー	個別専門家								
		ティグライ州中等学校建設計画準備調査	協準								
		産業人材育成の課題別研修	課題別研修他								
		小学校教育の青年海外協力隊	JOCV								
		理数科教育の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV								
		職業訓練の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV								

開発課題４－２ （小目標） 保健・医療の質の向上	保健・医療サービスの質の向上プログラム	エチオピアにおける保健・医療サービスの質の向上を念頭に、①人材育成、②医療・保健インフラの整備を支援する。	保健医療分野の課題別研修	課題別研修他								
			保健医療分野の人間の安全保障・草の根無償資金協力	草の根無償								

その他の支援

その他	【現状と課題】 我が国は、青年海外協力隊の派遣を通じて、エチオピアの開発課題への取組に貢献している。このほか、アフリカ連合の能力強化を念頭に支援を行う。	【開発課題への対応方針】 他ドナーや国際機関、NGO等との連携に加えて、我が国の民間企業や地方自治体、大学・研究機関など、多様な担い手による開発協力の実施に努める。

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額（億円）	備考
				2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
国民参加型の協力		青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV								
その他		アフリカ連合委員会カイゼン能力強化プロジェクト	基礎情報調査								
		体育・スポーツ分野のボランティア	JOCV/SV								
		経済社会開発計画	無償							2.00	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝青年海外協力隊）、「ＳＶ」（＝シニア海外ボランティア）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「中小企業支援」（＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査）、実線「———」（＝実施期間）、破線「－－－－」（＝実施予定期間）
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。